

第 22 回静岡市清水区民体育大会

競 技 要 項

開催日 令和 6 年 1 0 月 2 7 日(日)

会 場 清水総合運動場 陸上競技場

静岡市清水区連合体育会

静岡市清水区スポーツ推進委員会

競 技 上 の 注 意 事 項

1. 競技種目への出場は、一人2種目以内とする。（但し、年齢別リレーを除く）
2. 出場規定人数に満たない場合は、地区大会の2位チーム又は隣接町内から補充（補強ではない）することができる。
3. 年齢構成に区分けのある種目は、年長者が年少者に代わって出場することができる。（但し、小学生リレーを除く）
4. 全ての競技はピストルの合図によってスタートする。
5. フィールド競技において、コーンを回る種目については全て左回りとする。
6. トラック競技への出場選手は、規定のビブス（別紙参照）を必ず着用すること。
（ゼッケンは危険防止のため、縫い付け・貼り付けとし安全ピン等は使用禁止とする）
又、全ての競技のアンカーは、アンカービブスを着用すること。
7. 履物は運動靴とする。（スパイクシューズ・地下足袋・サンダル等は禁止とする）
8. 同一選手がフライングを2回した場合、失格とする。
9. リレー種目（トラック）は、バトンゾーン内で、バトンパスを行うものとする。
バトンパスが完了しない状態でバトンを落とした場合は、前走者がバトンを拾い、落した地点に戻りバトンパスを行う。
10. 競技前待機選手及び競技終了選手は腰をおろして待機、又は審判の指示に従う。
11. 各競技種目の競技方法・ルール及び判定は、本大会「競技要項」に基づき実施する。
12. 選手は競技中、携帯電話・時計の持ち込みを禁止する。
13. 参加選手は、準備運動等を十分に行い、ケガ等防止に配慮すること。
14. 上記注意事項を守れない場合や、審判員等の指示に従わない場合は、当該選手またはチームを失格とすることがある。

競 技 運 営 上 の 留 意 事 項

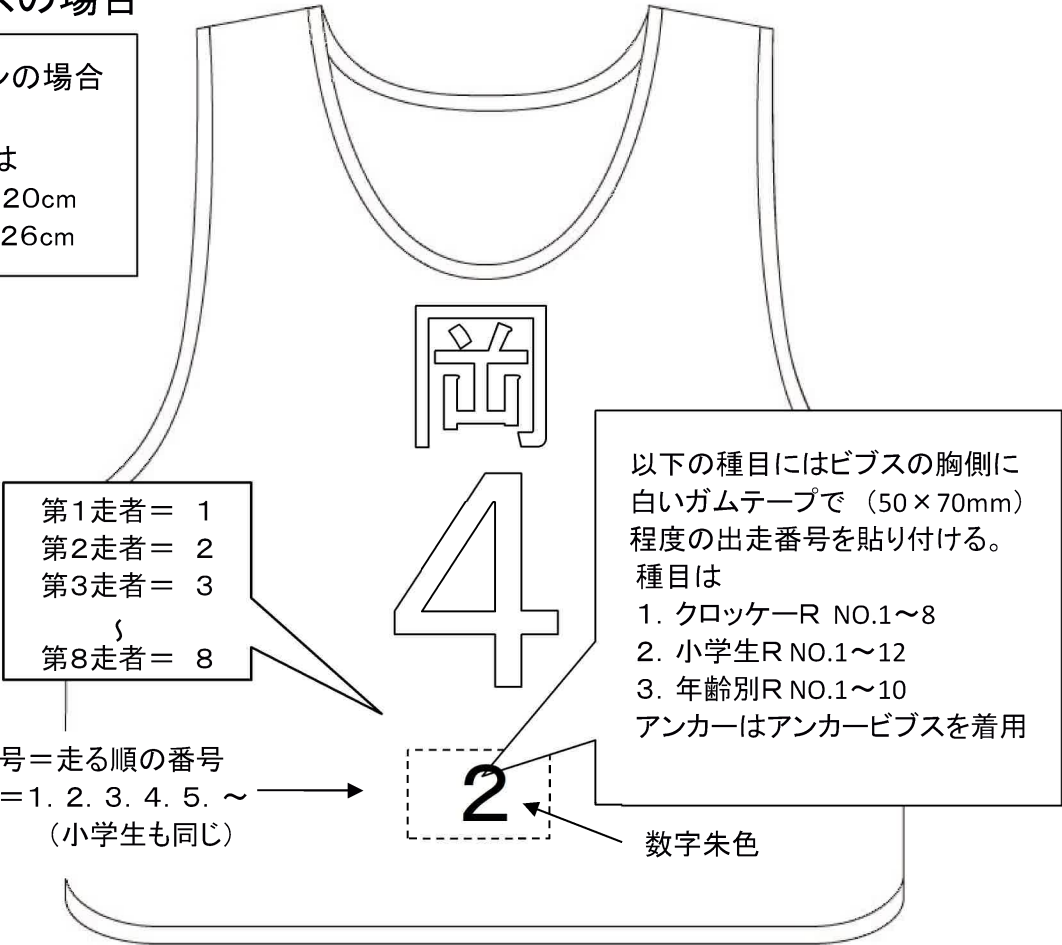
1. 出場チーム（各地区）に各競技種目「責任者」を置くこと。
2. 責任者は、選手召集所へ自チームの選手を招集させる。
（コールは各競技30分前に始めて、15分前に終了する）
3. 各地区全体責任者（代表者）は、円滑な大会（競技）運営が図られるよう選手団、応援団に協力方周知徹底をされたい。

〔別紙〕

地区ビブス(ゼッケン)及びアンカービブス(例)

○地区ビブスの場合

地区ゼッケンの場合
の
寸法は
タテ 16～20cm
ヨコ 25～26cm



地区別ビブス(ゼッケン)番号

1	辻	2	江尻	3	入江	4	岡	5	浜田
6	清水	7	不二見	8	駒越	9	折戸	10	三保
11	飯田	12	高部	13	有度	14	袖師	15	庵原
16	興津	17	小島	18	両河内	19	船越	20	蒲原
21	由比								

出走番号作成上の注意

1. 白いガムテープを使用すること
2. ゼッケン番号の下側に貼り付けること
3. 文字幅は6～8mm程度
4. 文字の大きさは40mm角程度

○ アンカービブス・タスキ

※アンカービブス(3着)とタスキ(1本)は、大会本部でセットにして用意してあるので、各地区責任者は、大会当日受付で受領すること。(全種目終了後、元の袋に入れて大会本部に返却する)



令和6年3月30日現在
アンカービブスを見積もり中
白地に黒文字

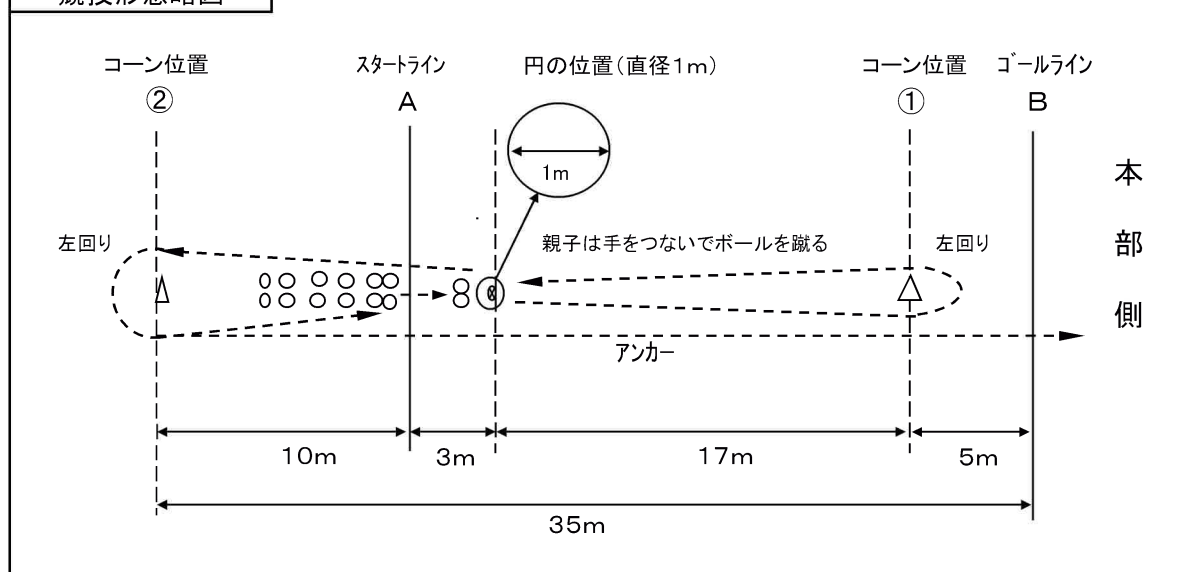
第22回 静岡市清水区民体育大会 競技順序

順	種 目	出 場 人 員	競 技 予 定 時 刻
1	親子ボール蹴りリレー	親 10名 子(小学生) 10名	9:00
2	クロッケーリレー	男子 4名 ・ 女子 4名	9:30
3	長 な わ と び	男子 8名 ・ 女子 8名 回し手 2名	10:00
4	ボウリングリレー	男子 5名 ・ 女子 5名	10:30
5	小 学 生 リ レ ー	小学生 12名 男子 6名 女子 6名	11:00
6	年 齢 別 リ レ ー	男子 4名 ・ 女子 4名 50歳以上男女問わず2名	11:30

NO. 1

種目名	親子ボール蹴りリレー	出場人員	20名
選手構成	親10名 子(小学生)10名		
使用器具	ポートボール(1) コーン(2) タスキ(地区に配布)		
競技概要	親子が手をつないでAラインをスタートし、円内のボールを蹴って運び、コーン①を回って停止位置(円内)にボールを停止させ、親がコーン②を回ってAラインで次走者にリレーする。		
ルール	(1) 3m先の直径1mの円内にボールを置き、Aラインをスタートする。 (2) 競技は親子で行なう。やむをえない場合は他の子と組むことができる。 (3) ボールは、親子どちらが蹴っても良い。 (4) 親子は決められた区間で手を離してはいけない。 (5) 決められた区間で手を離して走った場合は、審判の示す位置まで戻り競技を再開する。 (6) コーンを倒した場合は、審判が元の位置に立て直す。 (7) ボールを円内に静止させ、審判の「ヨシ」の指示後、親が次走者にタスキを渡すまで子はボールが円外に出ないように手又は足で止めて置く。 (審判の指示後、ボールが円外に出た場合は円内に戻す) (8) バトンのタスキは、親が首にかけ渡す。 (9) アンカービブスは、親がつける。 (10) アンカーは、円内にボールを停止させ審判の「ヨシ」の指示後、親子は手をつないだまま走ってコーン②を回り、Bラインを通過してゴールとする。		

競技形態略図



NO. 2

種 目 名	ク ロ ッ ケ ー リ レ ー	出 場 人 員	8 名
選手構成	50歳代（男子1名・女子1名） 60歳以上（男子3名・女子3名）		
使用器具	クロッケー用具（但し、スティックはグラウンドゴルフ用を使用する）		
競技概要	スティックを持ち、Aラインをスタートし球を連打でB停止ゾーンまで運び、一打でゲートを通過させ、次走者にリレーする。		
ル ル ル	（1） 第1走者からオープンとする。 （2） ボールがコースアウトした場合は、その地点まで手でボールを戻す。 （3） B停止ゾーン内では審判の「ヨシ」の指示後、ボールを手で持って移動させることができる。 （4） B停止ゾーンで停止できなかったボールに次走者は触れてはいけない。 （5） Cゲートはコース毎に設置しているが、どのゲートを通過しても良い。 （6） Cゲートを通過しないボールについては、次走者が転がして返球し、ゲートを通過するまで行なう。なお、アンカーについては、第1走者が返球するものとする。 （7） Cゲート通過後、CゲートとDラインの間（2m）で、スティック（バトン）の受け渡しをする。 （8） 打撃したボールが審判及び競技者に当たった場合は、そのまま競技を続ける。 （9） アンカーは、スティック（バトン）を持ちDラインを通過してゴールとする。		
競技順序	① 60歳以上 女子 ② 60歳以上 男子 ③ 50歳代 女子 ④ 60歳以上 男子 ⑤ 60歳以上 女子 ⑥ 50歳代 男子 ⑦ 60歳以上 女子 ⑧ 60歳以上 男子		
競技形態略図			
本 部 側 区間 3m 2m A (D) B 停止ゾーン C ゲート D (A) (30cm)			

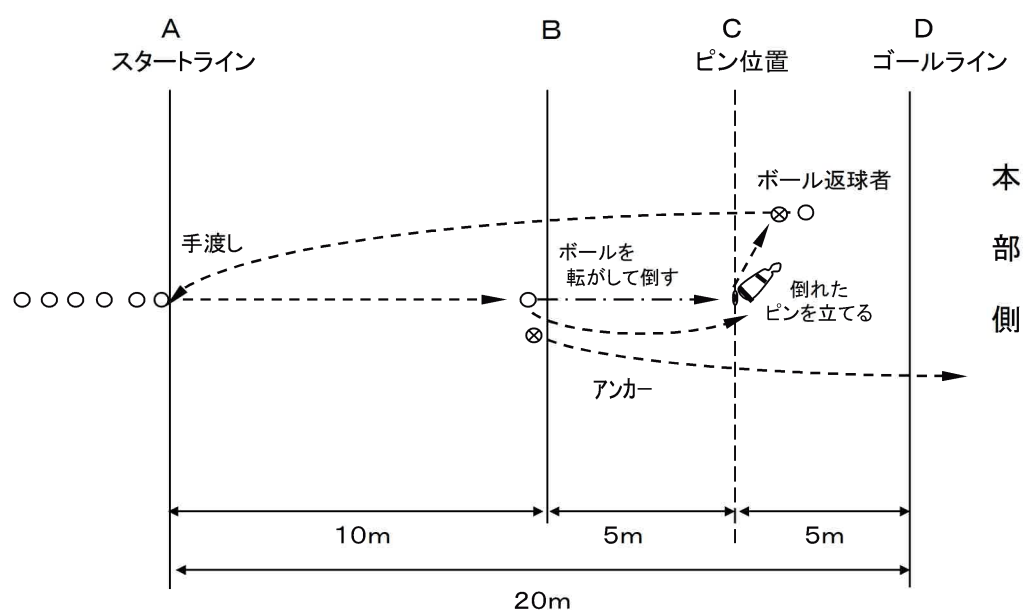
NO. 3

種目名	長 な わ と び （3区共通種目）	出場人員	18名
選手構成	16歳以上で中・高・大学生を除く。（回し手2名 ・ 男子8名 ・ 女子8名） 但し、人数に不足が生じた場合に限り、男女「各」3名までの中学生以上の参加を認める。		
使用器具	長なわ（全長 約15m 太さ 直径 0.9～1cm 柄の長さ75cm）		
競技概要	18名の選手の内、2名が縄を回し、 16名が3分間で連続で跳んだ回数の最高数で競う。		
ル ー ル	（1）長なわは、大会本部が用意した長なわを使用する。 長なわに結び目やコブ等を作ることは認めない。 （2）回し手は手袋の着用を認める。 （3）長なわは、テープ（13m長の外側）が見えるように持ち、回す方向は自由である。 （4）スタート時、回し手は長なわを持ち構えるが、長なわは地面から離れてはいけない。 （5）競技中の形態は、自由とする。 （6）試技は何回でも出来る。 （7）終了の合図があった時までに、16名が一同に跳んだ回数が記録となる。 （8）同回数の場合は、次に連続で飛んだ最高数にて決定する。 * 上記回数が同じ場合は、1回以上跳んだ試技数が多い方を上位とする。 * 全てが同回数の場合はアンカーゼッケン着用者のジャンケンで決定する。 （9）回し手はメンバー内で自由に交代できるが、跳ぶ選手は常時男子8名・女子8名であること。		
競技形態略図			

NO. 4

種目名	ボウリングレー	出場人員	10名
選手構成	40歳以上（男子 5名） 40歳以上（女子 5名）		
使用器具	ポートボール(1) ピン(1)		
競技概要	ボールを持ってBラインまで走り、ボールを転がしてピンを倒し、次走者にリレーする。		
ルール	(1) ボールを持ってAラインからBラインへ走る。 (2) Bラインから C地点のピンにボールを転がして倒す。 (ボールは、地面に2回以上バウンドさせること。) (3) ピンを倒したら、BラインからC地点に走り、ピンを立てて返球者となる。 (但し、第1走者の返球者は、アンカーが行う。) (4) ピンが倒れない場合、Cラインの返球者はBラインの投球者にボールを返球する。 (5) ピンが倒れたら返球者はボールを拾い、Aラインの次走者にボールを手渡す。 (投げてはいけない。) (6) アンカーは、Bラインからピンを倒し Bラインで返球者から手渡しでボールを受け取り、Dラインを通過してゴールとする。		

競技形態略図



NO. 5

種目名	小学生リレー	出場人員	12名
選手構成	小学1年生～6年生（各学年男女 1名）		
使用器具	バトン(1)		
競技概要	競技順序に従い規定の距離を走り、次走者にリレーする。		
ルール	(1) 距離は、1人 100m。 但し、1年生は50mとする。 (2) 第1走者からオープンとする。 (3) バトンゾーンは、20mとする。 (4) 低学年が高学年に代わって出場することができる。 (5) 男子の代わりに女子が出場することはできない。(逆も同じ) (6) 未就学児の出場は認めない。		
競技順序	① 1年生女子 ② 1年生男子 ③ 2年生女子 ④ 2年生男子 ⑤ 3年生女子 ⑥ 3年生男子 ⑦ 4年生女子 ⑧ 4年生男子 ⑨ 5年生女子 ⑩ 5年生男子 ⑪ 6年生女子 ⑫ 6年生男子（アンカー）		
競技形態略図			
本部側			

種 目 名	年 齢 別 リ レ ー	出場人員	10名
選手構成	16歳～29歳（男子 1名・女子 1名） 30歳代（男子 2名・女子 2名） 40歳代（男子 1名・女子 1名） 50歳以上（2名 ※男女問わず）		
使用器具	バトン(1)		
競技概要	競技順序に従い規定の距離を走り、次走者にリレーする。		
ル ー ル	(1) 距離は、1人 100mとする。 (2) 第2走者はバトンゾーン出口からオープンとする。 (3) バトンゾーンは、20mとする。		
競技順序	① 16歳～29歳 男子 ② 16歳～29歳 女子 ③ 30歳代 男子 ④ 30歳代 女子 ⑤ 30歳代 男子 ⑥ 30歳代 女子 ⑦ 40歳代 男子 ⑧ 40歳代 女子 ⑨ 50歳以上 ⑩ 50歳以上(アンカー)		
競技形態略図 本 部 側			